

- 問1 宮崎県の農業統計において、2020年の品目別生産量で全国1位となっている作物はどれですか。この作物は宮崎平野を中心に盛んに栽培されています。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. きゅうり 2. さつまいも 3. てんさい 4. ねぎ
- 問2 日本の茶の生産量に関する統計において、1位の静岡県（約38%）に次いで、全国の約3割（約31%）を占める鹿児島県では、ある特殊な地形を利用して茶の栽培が盛んに行われています。この地形の名称と農業上の特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
1. カルデラと呼ばれ、火山が噴火してくぼんだ地形を利用して大規模な稲作が行われている。 2. 扇状地と呼ばれ、川が山地から平地に出る場所に堆積した土砂を利用して果樹園が作られている。 3. シラス台地と呼ばれ、水はけが良い性質を利用して茶やサツマイモなどの畑作が行われている。 4. 三角州と呼ばれ、河口付近に砂泥が積もった平坦な土地を利用して米の二期作が行われている。
- 問3 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。 2. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。 3. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。 4. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。
- 問4 九州地方南部に位置するある都市は、2011年の九州新幹線の全線開業によって、大阪などの大都市圏からの移動時間が大幅に短縮されました。この交通網の整備により、観光やビジネス面で大きな変化が生じた都市はどこですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 熊本市 2. 福岡市 3. 宮崎市 4. 鹿児島市
- 問5 種子島が、16世紀における歴史的な役割と、現代における科学技術の拠点としての役割を同時に持っている理由について、その背景を説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 島全体が険しい山岳地帯であるため、かつては隠れキリシタンの潜伏先となり、現代ではその高低差を利用したロケットの垂直発射実験に最適だったため。 2. 九州本土に極めて近く物資の輸送が容易であったため、古くは武器の集積地となり、現代では宇宙産業の工場が集まる工業団地として発展したため。 3. 鉄砲の国産化に必要な砂鉄が豊富で技術を受け入れる土壌があった歴史と、ロケット打ち上げに適した低緯度で広大な東側の海という地理的条件が揃っているため。 4. 対馬海流の影響で年中温暖な気候であるため、古くは熱帯作物の栽培法が伝わり、現代では精密機械であるロケットを湿度から守る管理施設が作られたため。
- 問6 日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。 2. 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。 3. 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。 4. 1月の平均気温が約5度であり、12月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。
- 問7 九州地方には阿蘇山や桜島といった火山が数多く存在します。これらの火山の地下にあるマグマの熱を利用し、発生した蒸気によってタービンを回して発電する方式の名称として正しいものを選択してください。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 水力発電 2. 地熱発電 3. 火力発電 4. 風力発電
- 問8 鹿児島県の南、大隅諸島に属する南北に細長い形状をした島に関する説明として、歴史的な出来事と現代の状況を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 琉球王国の支配下で独自の文化を育み、現在はサトウキビ栽培とマングローブ林を活用したエコツーリズムの拠点となっている。 2. 古くから朝鮮半島との貿易の中継地として栄え、現在は大陸からの渡り鳥を観測するための大規模な自然保護区となっている。 3. 1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着して鉄砲が伝来し、現在は国内最大級のロケット発射場である宇宙センターが設置されている。 4. 16世紀にキリスト教が初めて伝わった地であり、現在は世界自然遺産に登録された屋久杉の原生林を保護する活動が盛んに行われている。
- 問9 沖縄県の産業構造において、製造業などの第二次産業の割合が低く、サービス業や小売業などの第三次産業の割合が突出して高い理由として、適切なものを選択してください。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. 政令指定都市を中心とした都市圏が形成され、情報通信技術（ICT）関連の製造工場がすべて県外に移転したため。 2. 亜熱帯の気候や独自の文化を求めて国内外から多くの観光客が訪れ、観光関連産業が県の経済を支えているため。 3. 広大な平野を利用した機械化農業が推進され、農産物の加工から販売までを行う第六次産業が製造業に代わっているため。 4. 県外からの輸送コストが高いため、原材料を輸入して製品を輸出する加工貿易型の工業が全く発達しなかったため。
- 問10 九州地方の自然環境と地形の成り立ちについて述べた文として、阿蘇山に見られる「カルデラ」の形成理由を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。 2. 火山灰が長年にわたって厚く積み重なり、水はけのよい広大な台地が形成された。 3. 河川が山間部から平野部に出る場所に、土砂が堆積して扇状の緩やかな斜面ができた。 4. 海面の上昇や地盤の沈降によって、山がちの海岸線に複雑な入り江が形成された。
- 問11 九州地方には多くの火山が分布していますが、その地下にあるマグマの熱を利用して電気を起こす発電方式を何といいますか。二酸化炭素の排出が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして注目されている名称を答えなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 太陽光発電 2. 水力発電 3. 風力発電 4. 地熱発電
- 問12 1960年代の北九州市は、重化学工業の発展に伴って深刻な環境問題に直面しました。この状況を克服し、現在は環境モデル都市として知られるようになるまでに行われた取り組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 地震や津波などの自然災害に備え、沿岸部の工場地帯を解体して内陸部へ居住区を移した。 2. 二酸化炭素の排出を抑えるため、太陽光発電などの再生可能エネルギーのみを全産業の動力とした。 3. 市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。 4. 全ての工場を市外へ移転させることで、工業都市から観光都市への全面的な転換を図った。